

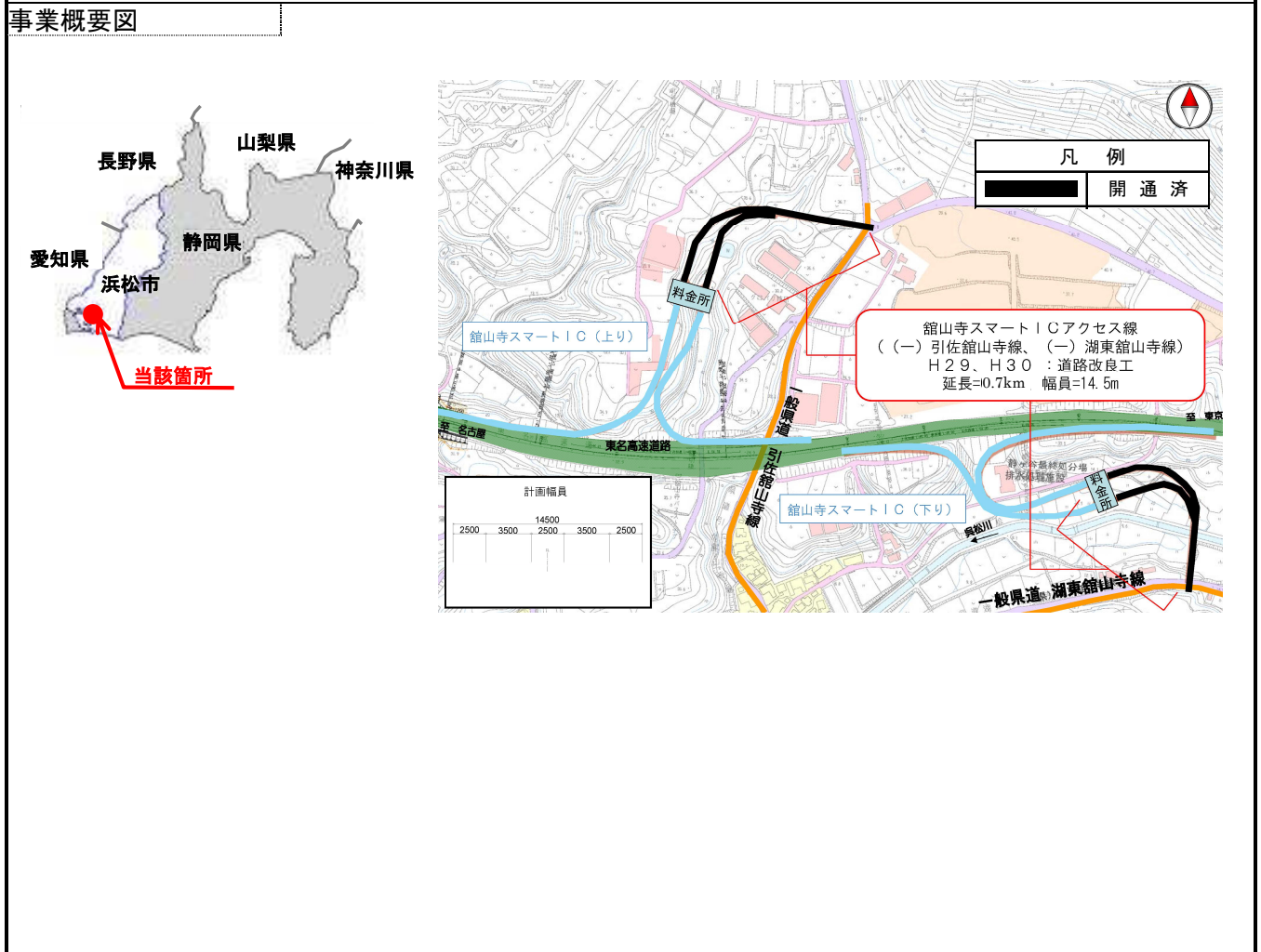
事後評価結果（令和2年度）

担 当 課：浜松市土木部道路企画課
 担当課長名：小出 弘章

事業名	スマートICアクセス 一般県道 引佐館山寺線	事業区分	地方道	事業主体	浜松市
起終点	自：静岡県浜松市西区呉松町 至：静岡県浜松市西区呉松町			延長	0.7km

事業概要
 一般県道引佐館山寺線は、館山寺スマートICの一次アクセス道路の一部を構成する道路であり、ランプ部の延長約0.7kmを整備するものである。

事業の目的必要性
 館山寺スマートIC（一般県道引佐館山寺線）は、館山寺地域の観光交通の分散と観光振興、産業振興、防災機能の強化などに大きく寄与するものである。



事業の 効果等	事業期間	事業化年度 都市計画決定	H25 —	用地着手 工事着手	H26 H26	供用年 (暫定/完成)	(再評価) — (実績) H31	変動	1.0倍	
	事業費	計画時 (暫定/完成)	(名目値) 11/億円 (実績値) —/億円	実績 (暫定/完成)	(名目値) 13/億円 (実績値) —/億円			変動	1.6倍	
	交通量 (当該路線)	計画時 (暫定/完成)	1,900/台/日	実績 (暫定/完成)	1,900/台/日			変動	100%	
	旅行速度向上 (供用前現道→当該路線)	—			交通事故減少 (供用前現道→当該路線)	—				
	費用対効果 分析結果	B/C 1.6 (館山寺SIC全体)	総費用 42億円 (事業費 : 25億円 維持管理費 : 17億円)	総便益 69億円 (走行時間短縮便益 : 57億円 走行経費減少便益 : 9.1億円 交通事故減少便益 : 2.3億円)	基準年	平成28年				
	費用対効果 分析結果 (事後)	B/C —	総費用 —	総便益 —	基準年	—				
	事業遅延によるコスト増	費用増加額 2億円		便益減少額 —						
	事業遅延の理由	・なし								
	客観的評価指標に対する事後評価項目	<p>○観光交通の分散による混雑の緩和</p> <p>1) 東名高速道路から館山寺地域へのアクセスが向上し、浜松西ICを利用するルートに比べ、東京方面からは約7分、名古屋方面からは約13分短縮。</p> <p>2) 館山寺地域への観光交通が集中する和地向交差点において渋滞長が約7割減少。</p> <p>○観光客の増加に寄与</p> <p>1) 館山寺温泉の宿泊施設において、宿泊者数が1ヶ月当たり約400人増加。</p> <p>2) 館山寺温泉周辺の観光施設では、入園者数が1ヶ月当たり約1,800人増加。</p> <p>○災害時の利用</p> <p>・東名高速道路から避難所までの緊急輸送路のアクセス距離の短縮やリダンタンシーが強化され、津波による推進被害にも影響を受けないルートが確保されたことから、当該地域への迅速な救援・救助や復旧活動への効果に期待。</p>								
	その他評価すべきと判断した項目	・特になし								
事業による 環境 変化	環境影響評価に対応する項目	・特になし								
	その他評価すべきと判断した項目	・特になし								
事業を巡る社会経済情勢等の変化										
<ul style="list-style-type: none"> ・三ヶ日IC、館山寺スマートIC、浜松西ICの1日平均利用台数は、前年度と比較して全体で約700台増加。 ・隣接する浜松西ICでは利用台数が1日約1,300台減少。 ・隣接するICの利用台数が減少していることから、隣接ICから館山寺スマートICへ利用の転換が考えられる。 										
今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性										
<ul style="list-style-type: none"> ・事業効果は発現しており、事業の有効性が確認されていることから、当事業において改善処置を行う必要性及び今後改めて事後評価を実施する必要性はない。 										
計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性										
<ul style="list-style-type: none"> ・事業評価の結果、同種事業の調査計画のあり方や事業評価手法について見直しの必要性はない。 										
特記事項										
<ul style="list-style-type: none"> ・H25年度～H28年度まで社会資本整備総合交付金にて事業実施 ・H29年度～H30年度まで個別補助事業にて実施 										